

登米市の市米登

登米市は、山米の産地として知られ、市米登の中心地として発展してきた。市米登の中心地は、市米登の中心地として知られ、市米登の中心地として発展してきた。市米登の中心地は、市米登の中心地として知られ、市米登の中心地として発展してきた。

登米市の景観について

登米市の景観は、山米の産地としての歴史と、自然環境の美しさを特徴としている。市米登の中心地は、市米登の中心地として知られ、市米登の中心地として発展してきた。市米登の中心地は、市米登の中心地として知られ、市米登の中心地として発展してきた。市米登の中心地は、市米登の中心地として知られ、市米登の中心地として発展してきた。

登米市建設部
都市計画課

1 登米市の概況

登米市は、旧迫町、旧登米町、旧東和町、旧中田町、旧豊里町、旧米山町、旧石越町、旧南方町、旧津山町の9町が合併し、平成17年4月1日に誕生しました。

市役所本庁舎を迫町に置き、人口89,318人（平成17年度国勢調査）、面積536.38km²（東西に約32km・南北に約30km）を有して、宮城県北東部に位置し、北部は岩手県に、西部は栗原市に、南部で石巻市に接しています。

市域の西側には丘陵が広がり、東部は北上山地の山間地帯となっており、その間は広大で平坦肥沃な登米耕土を形成し、ひとめぼれ、ササニシキ等の宮城米を産する県内有数の穀倉地帯として知られています。迫川と夏川がほぼ中央を貫流し、東側で北から南へ流れる北上川に合流しています。北西部にはオオハクチョウ、ガン、カモ等が飛来するラムサール条約指定登録湿地の伊豆沼・内沼、ヨットやボートが盛んな長沼があり、南部には市民に親しまれている平筒沼があるなど、河川湖沼が多く、さらに、地域の歴史は古く、史跡や由緒ある寺社があり、旧登米町や中田町石森地区などでは歴史的な街なみが残っています。

9町が合併した登米市は、市域が広く自然環境が多様であり、地域ごとに独自の歴史を有しています。

2 登米市の景観資源

本市では、平成 17 年度に登米市の地域資源調査（登米市の地域資源調査・データベース作成業務 財団法人宮城県地域振興センター）を実施しており、①貴重な生物資源、②文化財・天然記念物、③優れた自然環境、④特色ある地域的文化遺産、⑤先人の築いた人工的工作物、⑥地域産業に寄与した技術・文化、⑦歴史的寺社仏閣、⑧体験学習施設、⑨その他当該事業目的に適合すると判断される項目について抽出し、35 施設のデータベースを作成しています。

上記データベースから

地域景観資源の概要

【迫 町】

- ・ラムサール条約指定登録湿地の伊豆沼・内沼、水上スポーツのメッカである長沼があり、周辺に多くの施設が立地しイベントも盛んに行われています
- ・市街地には佐沼城址（鹿ヶ城公園）の丘陵があり、公園として整備され、博物館も立地し桜祭りも開催されています

【登米町】

- ・北上川堤防の国道 342 号沿いに桜のトンネルが 1km 続き、北上川に沿ってマラソン大会も開催されています
- ・武家屋敷、蔵造りの商家、明治時代の洋風建築が残る中心市街地は「みやぎの明治村」として多くの観光客が訪れ、伝統的行事も開催されています
- ・北上山地の森林には、キャンプ場として人気のある森林公園があります

【東和町】

- ・国道 456 号沿いの山間地域は、隠れキリシタンの里として知られ、映画の舞台に使われた教会があり祭りも開催されています
- ・県指定文化財の寺社など歴史的な建築物も多く、大名行列の祭りも続いています
- ・大関川の中流部に美しい溪流があり、自然豊かな三滝堂ふれあい公園として整備されています

【中田町】

- ・北上川沿いの丘に上沼八幡神社があるなど歴史的な寺社が多く、伝統行事もあります

- ・石森地区には古い街並みが残り、著名な漫画家・石ノ森章太郎の記念館もあり、観光客が訪れます
- ・北上川沿いにサイクリングロード、海洋センターがあり、レクリエーション拠点となっています
- ・北上川沿いにりんご園が広がり、りんご狩りなどが楽しまれています

【豊里町】

- ・平筒沼には学習館、遊歩道があり、カヌー・ヨットも楽しまれています
- ・北上川を分流する歴史的な土木構造物の洗堰・閘門があります
- ・丘陵には笑沢自然公園があり、眺望と花見が楽しまれています

【米山町】

- ・平筒沼には公園、研修施設、海洋センターがあり、水上スポーツ、釣り、花見が楽しまれています

【石越町】

- ・海上連溜池には水鳥が飛来し、周囲は公園となっています
- ・遊園地チャチャワールドが丘陵地にあります
- ・歴史的社寺、伝統的な民家が多い

【南方町】

- ・旧迫川沿いに桜並木があります
- ・大嶽山には歴史的社寺と桜が美しい公園があります
- ・花菖蒲栽培が盛んで、美術館、レストランを備えた公園があり、花祭りが開催されます

【津山町】

- ・山間に 726 年創建の柳津虚空蔵尊があり、個性的な佇まいを呈しています
- ・市街地、山間地に伝統的な建築様式で統一された街並みがあります
- ・道の駅を兼ねる「工芸の里」があり、林業の町の拠点となっています

3 登米市の景観特性

登米市は、平野の田園風景、山間地の山里的な風景、北上川・迫川や伊豆沼・内沼・長沼・平筒沼などの水景、迫町の都市的風景、登米町・中田町に見られる歴史的な街なみ景観など、地域ごとに多様な景観特性を有しています。また、主要な視点場となる幹線道路も平野部、川沿い、丘陵、山間を通過し、変化に富んだ景観を体験することができます。平野部の丘陵には、城跡や公園、レクリエーション施設があり、それらには地域を眺望できるビューポイントとしての資質を備えている場所も多数あり、景観計画を策定する場合には、地域ごとの景観特性を把握し、その特性を活かした効果的な施策を講じることが望ましいと考えています。

一方、幹線道路や市街地では、看板類や建築物の不調和、道路附属物等による景観阻害なども多く見られ、これらの景観阻害要因についても的確に把握し、改善措置を講じることが望ましいと考えています。

地域景観特性の概要

【迫町】

- ・西部は伊豆沼・内沼・長沼とそれを囲む丘陵で構成され、平地に水田が広がる
- ・東部は平地の市街地とその周辺の水田地帯で構成される
- ・市役所本庁舎が立地する市街地は、商業施設が集積しているが街並みに統一感が無く屋外広告物が多い
- ・長沼フートピア公園、兵糧山公園、鹿ヶ城公園が主要な眺望点

【登米町】

- ・平地は北上川の西側に広がるのみで、南部は丘陵、東部は山地
- ・西部の平地には迫市街地、中田市街地まで続く広大な水田地帯
- ・北上川に隣接する市街地は南北に丘陵を控え、歴史的な街並みが特徴的
- ・登米八幡神社、寺池城址、北上川沿いの国道 342 号・県道 257 号が主要な眺望点

【東和町】

- ・地域の大半は山地・山間であり、二股川沿いに山間集落が連担する
- ・中心市街地は北上川の蛇行部左岸にあり、北部が丘陵、南部が水田地帯
- ・米川地区には伝統的な街並みがある
- ・北上川沿いの県道 202 号が主要な眺望点

【中田町】

- ・北上川の西側に広がる平地の田園地帯、北上川沿いには川を眺望できる場所が多い
- ・田園の中に小高い丘が多数あり、いぐねのある集落が形成されている
- ・石森地区には伝統的な街並みがある
- ・八幡山、北上川堤防の町道・国道 342 号が主要な眺望点

【豊里町】

- ・北上川、旧北上川、迫川に囲まれ、北部が丘陵樹林、南部が平地田園となっている
- ・旧北上川の右岸隣接地に、川に沿うような形で市街地がある
- ・笑沢自然公園、北上川沿いの県道 257 号が主要な眺望点

【米山町】

- ・地域の大半は平地田園で迫川に近接して市街地があり、その東部に丘陵がある
- ・広大な田園景観の中に小高い丘と集落、樹林が点在する
- ・迫川沿いの国道 346 号が主要な眺望点

石越町

- ・中央の丘陵に集落と樹林があり、その周辺の平地に水田が広がる
- ・田園に伝統的な民家が見られる一方、駅周辺では現代的な建築が多い
- ・石越総合支所が主要な眺望点

南方町

- ・地域の大半は平地田園地帯で、西部に丘陵がある
- ・田園には小高い丘と集落が多く存在し、田園景観は他地域より細かく分節している
- ・迫市街地に近接する県道沿いには郊外型店舗と屋外広告物が多い
- ・花菖蒲の郷公園、迫川沿いの国道 346 号が主要な眺望点

津山町

- ・ほぼ全域が山地・丘陵、山間に歴史的な寺社、伝統的な民家の多い集落がある
- ・南沢川に沿って農地・集落があり、中心市街地は北上川左岸にある
- ・国道 342 号から北上川を眺望できる
- ・北上川沿いの国道 45 号、国道 342 号が主要な眺望点

景観の基本構造図

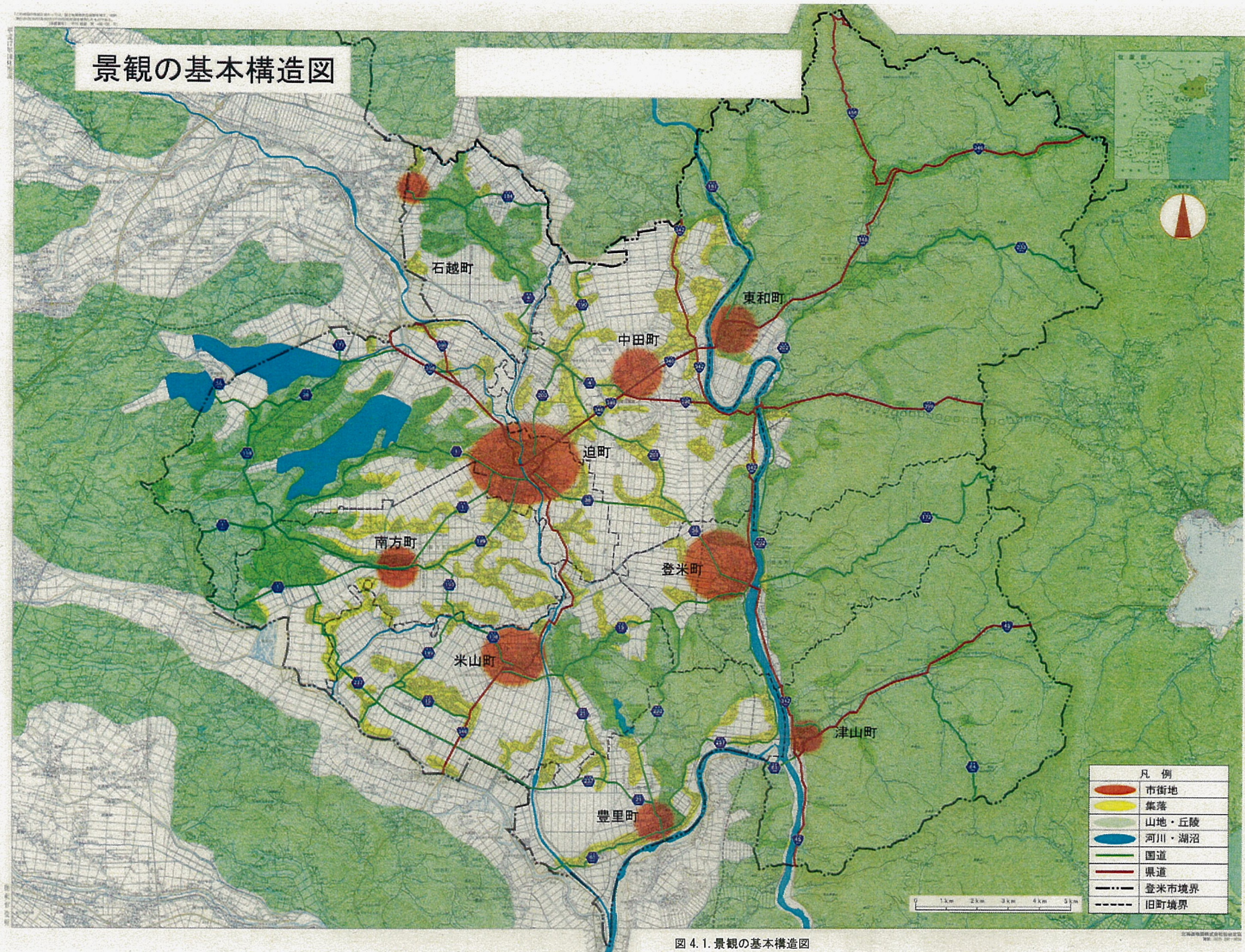


図 4.1. 景観の基本構造図

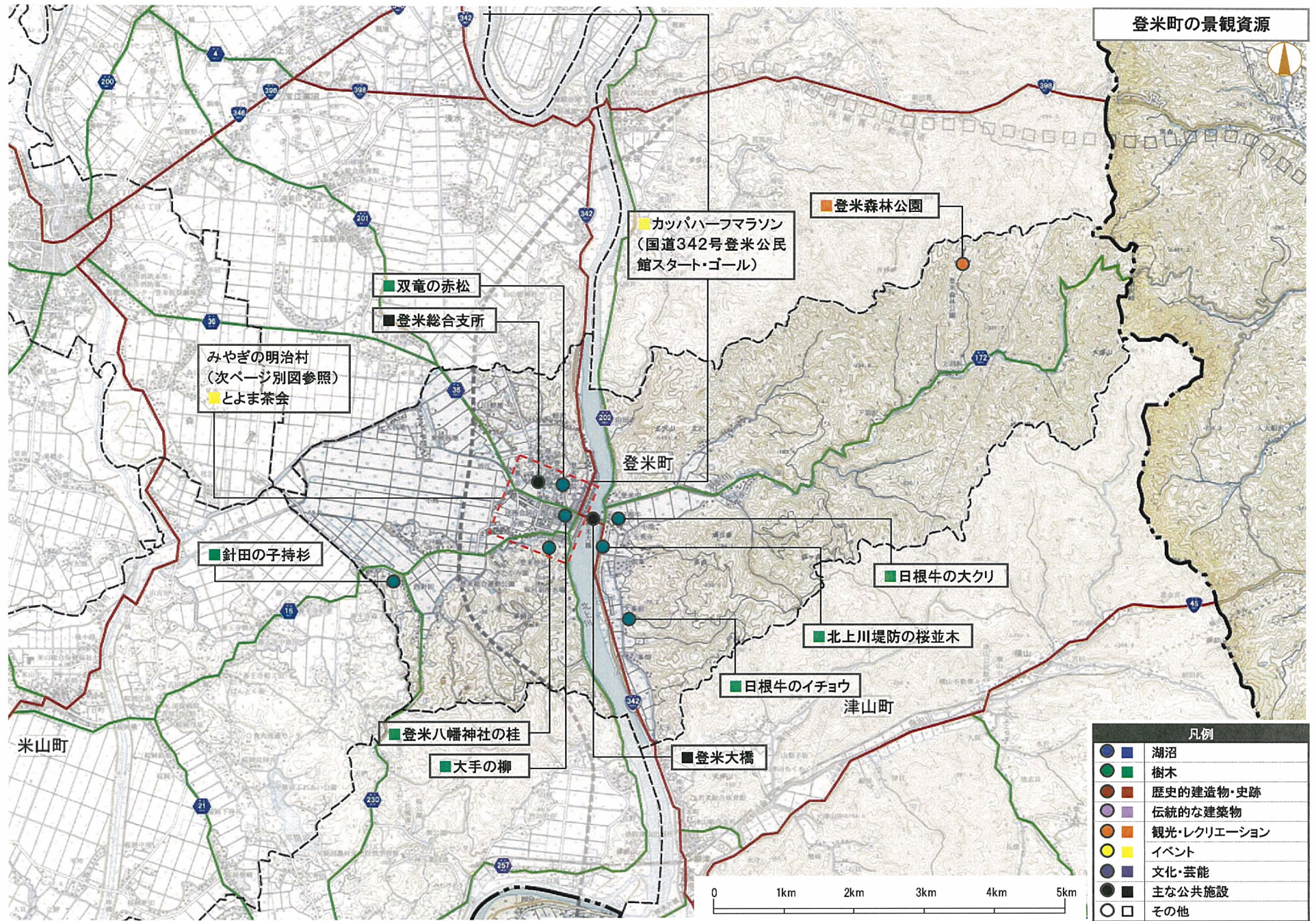


図 4. 5. 登米町景観資源図

登米町の景観資源

表 4.3. 登米町景観資源リスト (1)

資源名	概要	状況	区分
双竜の赤松	市指定天然記念物。 樹齢 400 年の珍しい枝垂れ性の極端な形態をなしたアカマツ。寺池城の石垣にある。		樹木
大手の柳	県指定天然記念物。 寺池城の大手門跡である「駒繫の広場」に生育しているヤナギ。		樹木
日根牛のイチヨウ・大クリ	県指定天然記念物。 大クリは樹齢約355年・樹高8Mの丹波栗。平坦な民家の門口にある。イチヨウは樹高37Mで巨樹として貴重。		樹木 写真は大クリ 写真出典:インターネット
登米八幡神社の桂	市指定天然記念物。 八幡山の登り口にあり、高さ7ほどで主幹を失っているが、樹高は 25M に達する。樹齢は 300 年。		樹木
針田の子持杉	市指定天然記念物。 樹高 27M のものを最大として 7 本の杉が 1~2M の間隔で一直接に並列している。樹齢 240 年と推定される。		樹木 写真出典:インターネット
北上川堤防の桜並木	昭和 30 年前半の植栽で、樹種はソメイヨシノ。国道 342 号沿いに桜のトンネル約 1KM が楽しめる。		樹木
みやぎの明治村	伊達支藩の城下町で、舟運により栄えた頃の町割り・街並みの中に武家屋敷・蔵造り商店があり、加えて明治時代の洋風建築で国・県指定文化財などがある文化と歴史の地区		歴史的建造物・史跡

資源名	概要	状況	区分
登米秋まつり (みやぎの明治村)	9月第3日曜日と前日に開催。登米地区の伝統芸能が勢揃いする。		イベント 写真出典:②
とよま茶会 (みやぎの明治村)	登米地区内で、社中ごとに開く茶会。		イベント 写真出典:③
寺池城 (別名:臥牛城、登米要害) (みやぎの明治村)	伊達 270 年の居城であったが、現在は石垣と城址碑が残る。本丸や二の丸跡地は公園・裁判所として活用されている。遼山之里駐車場に隣接。		歴史的建造物・史跡 写真出典:①
旧登米高等尋常小学校校舎 (みやぎの明治村)	国指定文化財。 教育資料館として利用され、好評の給食体験なども行われている。平成 16 年度の入館者数は約 7 万人。		歴史的建造物・史跡
旧登米警察署庁舎 (みやぎの明治村)	県指定文化財。 警察資料館として活用されている。平成 16 年度の入館者数は約 4 万 5 千人。		歴史的建造物・史跡
春蘭亭(武家屋敷) (みやぎの明治村)	市指定文化財。 喫茶を楽しめる休憩所として利用されている。		歴史的建造物・史跡
水沢県庁記念館 (みやぎの明治村)	市指定文化財。 明治初期の県庁舎。記念館として利用されている。平成 16 年度の入館者数は約 4 万 3 千人。		歴史的建造物・史跡

写真出典資料: ①登米地域の地域資源調査・データベース作成業務報告書 / (財)宮城県地域振興センター / 平成18年2月
②登米市勢要覧 / 登米市 / 平成18年3月
③登米市観光カタログ「ほっ登米」 / 登米市産業経済部商工観光課 / 平成18年
④登米市観光カタログ / 登米市産業経済部商工観光課 / 平成17年4月

登米町の景観資源

表 4.4. 登米町景観資源リスト (2)

資源名	概要	状況	区分
蔵の資料館 (みやぎの明治村)	味噌・醤油の醸造元が、明治まで使われていた酒蔵を資料館として公開している。		歴史的建造物・史跡 写真出典:③
アンティーク資料館 (みやぎの明治村)	明治27年に建設した商店の蔵を公開しており、当時の商店で使用していたものなどを展示している。		歴史的建造物・史跡 写真出典:③
鹿妻山 専称寺 (みやぎの明治村)	寺院を開放して託児所を設けており、境内に遊具や運動場がある。登米町に伝わる昔話「専称寺むす」がある。		歴史的建造物・史跡 写真出典:①
登米神社 (みやぎの明治村)	神社本門(随神門)の随神像は全国的にも稀な工芸技術の秀作。芭蕉翁句碑がある。		歴史的建造物・史跡 写真出典:①
登米芭蕉祭俳句大会 (みやぎの明治村)	6月第4日曜日 登米神社で開催		イベント
太白山養雲寺 山門・三光堂 (みやぎの明治村)	山門・三光堂ともに市指定文化財		歴史的建造物・史跡 写真出典:①
覚乗寺 高台院霊屋 (天山公廟) (みやぎの明治村)	江戸初期の仙台領内霊屋造りの秀作(他に仙台経ヶ峰御霊屋・松島円通院御霊屋)。寺池城址の閑静な奥まった林の中にある。		歴史的建造物・史跡 写真出典:①

資源名	概要	状況	区分
遠山之里 (みやぎの明治村)	とよま観光物産センターで、大駐車場・観光案内所・レストランがあり、みやぎの明治村の観光拠点となっている。		観光・レクリエーション
懐古館 (みやぎの明治村)	貴重な文化財の伊達家ゆかりの品々が展示されている。		観光・レクリエーション
大野屋歴史民俗博物館 (みやぎの明治村)	江戸時代からの民俗資料を展示している。		観光・レクリエーション 写真出典:③
玄昌石の館 (みやぎの明治村)	特産の玄昌石は、世界でも最高級で東京駅の屋根材にもなっている「とよま昌石」。ここでは産出から製品に至るまでの過程を紹介している。		観光・レクリエーション
森舞台 (みやぎの明治村)	伝統芸能の伝承施設として平成8年にオープン 日本建築学会賞 1997年受賞		観光・レクリエーション 写真出典:①
森舞台 登米薪能(登米能) (みやぎの明治村)	県指定文化財。 230年の伝統をもち、6月と9月の第3土日曜日に森舞台で演能される。アマチュアで演能できるのは県内唯一、東北地方でも貴重。		文化・芸能 写真出典:①
登米森林公園	キャンプ場・オートキャンプ場・コテージなどを備えた北上山地の憩いの場。		観光・レクリエーション 写真出典:③

写真出典資料: ①登米地域の地域資源調査・データベース作成業務報告書/ (財)宮城県地域振興センター/平成18年2月
②登米市勢要覧/登米市/平成18年3月
③登米市観光カタログ「ほっ登米」/登米市産業経済部商工観光課/平成18年
④登米市観光カタログ/登米市産業経済部商工観光課/平成17年4月

登米町の景観資源

表 4.5. 登米町景観資源リスト (3)

資源名	概要	状況	区分
遠山の船着場	北上川水辺プラザ整備事業の一環で遠山の船着場を整備。さくら・納涼クルージングなどが開催されている。		観光・レクリエーション
カップ-halfマラソン	11月第4日曜日に開催。北上川沿いがコースとなる。とよま産業まつりを同時開催。		イベント 写真出典:④

資源名	概要	状況	区分

写真出典資料：①登米地域の地域資源調査・データベース作成業務報告書／(財)宮城県地域振興センター／平成18年2月
 ②登米市勢要覧／登米市／平成18年3月
 ③登米市観光カタログ「ほっ登米」／登米市産業経済部商工観光課／平成18年
 ④登米市観光カタログ／登米市産業経済部商工観光課／平成17年4月